常磐毎日新聞

日刊

三月廿七日夕刊

發行所　常磐毎日新聞社

闇相場や賣惜みの行爲を断然排撃し
國民の自肅と認識に愬ふ
公定價格を強調

昨年九、一八に釘づけられた公定價格は銃後國民の自肅と認識に愬へこれが嚴守を強調して來たつたが最近においてもよく實施されてゐるかどうか？市内の各商店を一覽すれば日常必需品たる木炭、薪、石炭から日用品の大部分が闇から闇へ賣買されてゐて嚴として公定價格を崩さないものは煙草に切手、葉書、種皮の官制品のみといつてもよい狀態、砂糖の如きは公定價格で販賣されるも四月一日より消費稅引上げに因んで極度に賣惜みしてゐる現狀で家庭では五百匁の砂糖を買ふのに三回も四回も通はなければ手に入らない始末、ビールも來月一日よりの値上を前にして市内酒類問屋の中には種々なデマさへ飛んでゐる、この實情に鑑み平署では各商業組合と協力管内一齊に公定價格強調週間を實施してこれが嚴守の徹底を期すことになり目下計畫を進めてゐる

飲食店の休業に旅客悲鳴を擧ぐ
不便を緩和する爲め
二分して交互に休む

每月一日は興亞奉公日として全國民が自肅自戒興亞の達成に協力してゐるこの日平市内飲食店は一齊に休業するが、第一悲鳴を擧げるのは旅行客で殊に平地方は炭礦があるところから人の出入が多くこれ等の平に下車する人人は一日中食事を取る事が出來ずに引上げるといふ有樣で各方面から改善の聲が出て來たので渡邊小署長は旅行者その他の人人の不便を緩和するため四月より飲食店を二分し一日、十五日或は一日、二日とにいふ樣に交互休業せしむる方針をとることになり計畫を進めてゐる

体育の春を迎へグライダー實演
縣体育協會主催で
平市に開く

スポーツの春を迎へ縣体育協會では早くも今年度の行事を決定したが四月二十二日から二十八日まで平市にグライダー實演會並に映畫會を開く外七月二十一日からの三日間磐中で縣下中等學校武道大會縣神宮豫選會が催される

女工さん每日修養
吳羽工場で

錦町の吳羽紡績工場の女工さん七百七十余名は家庭日治會を組織し四月から每週十二時間以上修身國民教育、裁縫等を工場内で受講することになつたが、尚同工場では元高師教授芦田惠之助氏の手で「吳羽讀本」を編纂し女子産業戰士の智德教育に乘出すといふ

郡農會の議員が模範農場地視察

石城郡農會では模範農場地視察を兼ね橿原神宮、伊勢神宮を參拜することになり四月七日二泊三日の豫定で出發するが選拔議員は左の如くである

泉上遠野定次郎、内郷沼田濱之助、鹿島志賀直哉、赤井草野三郎、大浦神谷佐藤庄太郎、四倉新妻盛木戸清治、大野荒川庸幸

軍用馬鍛錬

植田町の軍用保護馬鍛錬會は明二十八日植田小學校で行はれる

簡保橫領
一年の求刑

既報簡易保險、掛金二千四百十八圓を橫領費消した錦村字花ノ井元植田郵便局員猪木吉（二三）に係る業務上橫領事件の公判は二十六日平區で開廷されたが懲役一年を求刑された判決は二十八日である

遺族の感激英靈の歡び
論功行賞の御沙汰

今次支那事變に於て戰傷死せる護國の英靈に對し今回畏くも支那事變二十一回陸軍關係第十八回の論功行賞御沙汰あらせられ今二十七日午前零時内閣賞勲局並に陸軍省より發表されたがこの中地方關係者は左の如くしかもこれら英靈が屍をさらした大陸に、いま支那新中央政府が勇士の尊き血潮に育まれて東亞新秩序の一歩を踏み出さうとしてゐるときこの恩賞の榮えを墓前に告げる遺族の感激地下に聽く英靈の歡びは一入深いものがあらう

▽功六旭七歩曹江名町片寄英秋▽功七旭八歩上内郷村三富竹藏、同鹿島鈴木徹朗、同歩伍錦村五十石三喜三、同歩上入遠野村平子芳之助、同砲上小名濱町小野保▽功七旭七歩上磐間村永山久次、同小名濱町高木定爵、同平市丹野一郎、同工伍山田村澤田明、同歩上平市西澤知衛、同、大浦村愛川良司△旭七騎伍植田町根本吉躬▽旭八砲上鹿島村金成春治、同歩伍入浦村芳賀五郎吉

郡農總會
新豫算增額

既報石城郡農會では二十六日平團体事務所で總會を開き新年度豫算三萬一千二百六十四圓を決定したが前年度に比べると九千四百九十七圓の增である

尚副會長佐藤庄太郎氏辭任による後任は好間村長金成茂右氏に決定された

自轉車乘逃げ
徘徊中捕る

平署では二十七、夜市内田町地内を徘徊してゐた擧動不審の男を檢擧したが取調べの結果住所不定無職相馬郡金房村生れ林藤吉（三三）といひ去る十五日茨城縣下津町三田勤兵衛氏所有の自轉車この價格百三十圓を乘逃げして來た犯人と判明した

コタツの不始末で
湯本町二棟半燒

二十六日午後六時四十分頃湯本町三函磐城炭礦常務係鯨井君雄氏方から發火したが地元をはじめ平の自動車ポンプ等逸早く馳せ付け消火に努めた結果住家及び隣家の日野忠兵衛氏宅を半燒したのみで間もなく鎭火した、原因は炬燵の不始末損害二千圓

住んだ土地の恩義に感謝
銃後會へ寄附

埼玉縣大宮町島海吉三郎氏は以前平市に住んでゐた時色々お世話になつたからと今二十七日市銃後奉公會に金二十圓を送つて來た

護國の華半旗凱旋

既報聖戰に護國の華と散つた泉村出身吉田部隊渡邊眞一郎伍長は明二十八日故國○○港に上陸翌二十九日原隊に半旗凱旋する

岸壁決潰を防禦
小名濱警防團表彰

小名濱町警防團は昨年八月五日の暴風雨に團員協力一致小名濱港岸壁の決潰防禦に努力した功勞により此の程橋本縣知事から感狀を授與された

平市人事

[illegible]

△大工町一四中山喜好氏二男宣明君

△研町一一安藤廣吉氏長女惠美子さん

ラヂオ

今晩の部

▼後六、〇〇 子供の時間 偉人傳「ある日の大村益次郎」原勝他

▼後七、二〇 郷土に寄する言葉、松岡俊三

> ## 郷土に寄する言葉
> （午後七時廿分放送）
>
> 衆議院議員 松岡俊三
> （山形縣出身）
>
> 早先年私は東北に御緣故の深い宮樣から、東北の雪と農作物との關係について御理解深き畏き御下問に接し恐懼御奉答致した事がございました。
>
> 結局我々東北人は、過去の舊套墨守の安逸から脫し、人事を盡して天災を克服する積極的東北人にならねばならぬと考へます

▼後七、三〇 國民歌謠 ◎放送開始十五周年記念特輯番組（六夜）

▼後七、四〇 歌謠曲 一丸他

▼後八、〇〇 漫才「大和撫子ここにもあり」ミスワカナ他

▼後八、三〇 舞臺劇（歌舞伎十八番）「勸進帳」市村羽左衛門、松本幸四郎他

明日の部

▼前七、〇 健康講座「風邪を征服するには」平松鶴吉

▼前八、三五 幼兒の時間「歌のおさらひ」BK子ドモ唱歌隊

▼前一〇、二〇 家庭の時間「學窓を出て家庭に在る娘さんへ」松岡久子

▼後〇、〇五 室内樂 樂友トリオ

▼後三、〇〇 婦人の時間「新支那政府の要人たち」村田牧郎

▼後六、〇〇 子供の時間 連續童話劇「ぼくと私の銃後日記」（三月の卷）高石成雄外

▼後七、二〇 郷土に寄する言葉（錄音）成田爲三

▼後七、三〇 國民歌謠 ◎放送開始十五周年記念特輯番組（第七夜）

▼後七、四〇 三月に拾ふ「奈良二月堂御水取」

▼後七、五〇 吹奏樂、陸軍戸山學校軍樂隊

▼後八、一〇 ラヂオ風景「興亞の家」野添健外

鈴木醫院
平市田町
電話五八番

榮えある受賞兒童
平第四校の部

優等賞 △尋一 猪狩貞一 松本京子 根本タカ子 上川順一 小野トシ子 鈴木守治 吉田敬子 上妻キヒ子 早川賢勇 鈴木文夫 岡部和江 會川朝子 松崎一美 小野昌太郎 下藤利江 戸田文衛 鈴木榮子 明智フク 鈴木睦子 和田清子 松崎アサ子 和田勝子 △尋二 小金森義子 吉野呉代子 金成セイ子 戸丸ツル子 梅谷光男 佐川久子 薄葉京子 長瀬信子 吉田正明 國府田久子 明智種子 永島ヨシ子 小野地ミチ子 木田トシ子 大須賀忠彦 大和田朗幸 松崎千代子 松崎久司 大須賀ヒメ子 松崎靜久 加澤嘉孝 關場みつ子 鈴木一郎 太田靜香 △尋三 江尻徹 木田芳子 金成キヨ子 松崎芳枝 高田照子 松本良江 大須賀欽兵衛 小野青十 丹野匡内 石井清人 會川トミ子 根本忠平 松本靜江 松崎正光 △尋四 草野弘 小野好秋 上妻利昌 坂本博 小林茂 梅谷幸 小金森美代 鈴木知子 松本典子 佐藤キクヨ 矢吹淺江 大須賀律子 佐藤隆子 薄葉和子 △尋五 木田辰雄 薄葉武久 佐川正一 永井將夫 福田耕三 菅波典子 木田毛登 吉野榮子 會川ヰ子 根本品子 吉田昭子 松崎繁子 薄葉テル子 明智美代子 野崎禮子 △尋六 矢吹敬芳 梅谷健次郎 高田昭 猪狩正次 松本信之 小野松二 松崎久 阿部豊 鈴木昭二 小林忠 上妻龍雄 鈴木國弘 川角功名 川角正 吉田ヒサ子 小野幸子 小野久枝 小野久仁 松本峻子 草野其美子 小野地タカ子 金成さき子 下河邊利子 上妻昭子 △高一 鈴木秀夫 薄葉博 鈴木光一 松崎三平 上妻千尋 小泉和郎 山野邊光平 坂本イチ子 今野とき子 薄葉由惠 吉野タマ 小野浦子 矢吹美津子 鈴木良子 薄葉美代子 高二 鶴田昭隆 青木正良 小野清一郎 和田勝男 薄葉丸平 下河邊孝正 金成然治 薄井良平 松崎富彌 新妻光榮 丹野喜重 和田榮 馬目瑞子 小野富美子 石井彬子 小野シン 鈴木トミ子 關場とし子 吉野マス子

六箇年間無缺席 梅谷健次郎 鈴木理弘 高田昭 相田恒行 猪狩正次 松崎英夫 松崎久 石井清彦 鈴木新一郎 鈴木直治 矢吹敬芳 松本信之 鈴木信夫 小野久枝 小野久枝 小野久子 關場澪子 阿部シゲ子 黑木千八子 松崎良子 草野其美子 吉田ミヤ子 高橋眞惠子

八箇年間無缺席 小野清一郎 松崎富彌 和田榮 吉田政美 關場とし子 小野富美子 黑へ照子 阿部アサ子 松崎瑞子 八幡ヤス子

生わさび以上の新製品

健康印

靜わさび

獨特の色香……辛味

一度用ひて便利を知り
二度用ひて經濟を知り
三度用ひてなくてならぬを知る

本品の特徴

一、本品は品質優良の山葵を精選して粉末にしたものであります
一、本品は清水にて練り合せば辛味風味共に生山葵の卸し立てと同樣です
一、本品は價格至廉經濟及品質本位の優秀品です

◇御使用法◇

御入用の量を器に入れ冷水にて御解き下さい御解き後はフタをするか又はフセルかして二三分間置きますと風味も辛味も生わさび以上です（必ず冷水にて御解き下さい）

御値段

御家庭用
二五瓦入 金參拾錢
一〇〇瓦入 金壹圓

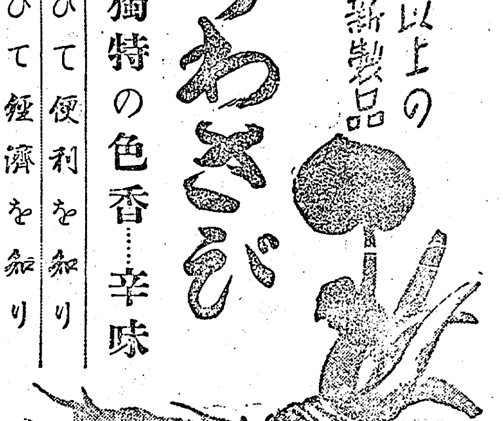
業者用
二〇〇瓦入 金壹圓八拾錢
三七五瓦入（百匁）金參圓

外に一貫目入三貫目入りの徳用もあります

特約店募集

御希望の方は此の新聞の名を明記して共に直接本舖宛店名捺印の上御照會下さい

本場「靜わさび」本舖
健康堂食料品部
東京市本郷區根津宮永町一九
電話下谷（八三）五七四三番
振替東京二八三四九番



東北振興アルミニウム株式會社
郡山工場工員募集

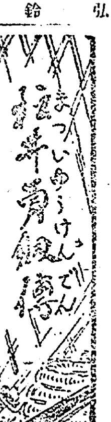
一、應募資格　滿十六才以上四十才迄の男子
一、待遇　未成年者月收三十四圓以下
成年者月收四十二圓より、五十四圓迄
一、宿舍　本人に限り無料食費一ヶ月約十圓
一、旅費　採用者には工場迄の赴任旅費を支給す、銓衡地迄は辨當代及銓衡地迄の往復旅費を支給す
一、申込手續　自筆履歷書一通平職業紹介所に提出のこと
一、銓衡日時場所　三月三十一日午前九時より於平職業紹介所
◎銓衡以降申込の方は其の都度銓衡す

平職業紹介所

エタニツトパイプ
鐵管代用

	耐壓封度	內徑	一本ノ長サ	一本ノ價額	ギボルト繼手代
D級	250	50粍	3m	4.72	2.90
〃	250	75	3	6.97	3.50
B級	100	100	3	7.90	6.25
〃	100	150	4	17.70	9.20

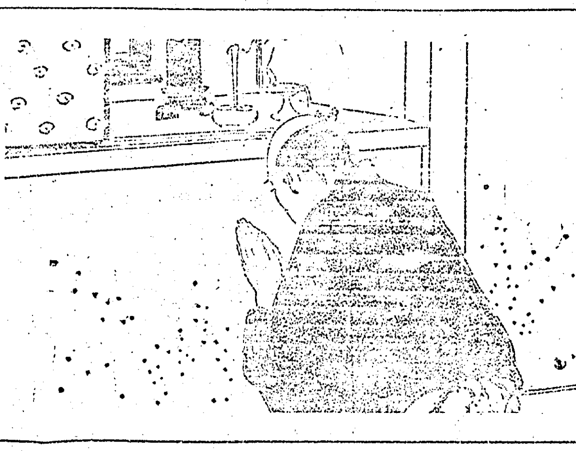
平市仲町通り
山田文一商店
電話262番



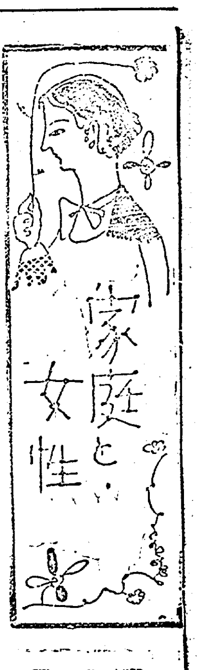
第三十五回

市兵衛危くなる

[illegible]



[illegible]



家庭と女性

「……小ばなし……」

閻魔大王が新米の三百[illegible]に一席所望したので[illegible]心得て得意の落語を一席かけると鬼が席をはづして出てゆくので「おいなぜお前は聞かんのだ」「へん可笑しくて聞いちやあゐられません」

花嫁の希望

[illegible]山[illegible]子

「お嫁さんに行くつて大へんですのねえ。お簞笥やうちかけのほかに、着物は[illegible]い間もう、一枚もこしらへないでもいくらひもつてゆくのね。[illegible]が三つもよ。それからふとん、[illegible]、下駄箱、鏡台、火鉢、ざる、おはち、おしやもじ、家ぢゆうの要るものは何でも道具屋さんみたいにそろへてもつてゆくのね。あれではお嫁さんは、もう何ももつてくるものはないわ。」

：：

衣裳の縮緬の支度、見ごたへ[illegible]、[illegible]の言葉[illegible]ある。それにつれ私も、男のひと[illegible]結婚のとき何を用意するのだらうと考へてみた。

どの花嫁も、おしやもじ、たわし、ふきんまで、結婚の支度に買つてもつてくる人はないだらう。[illegible]は家庭用品といつしよに人生の[illegible]をはじめる。それはいゝことである。けれどもおびただしい家庭用品の中に、ただ埋もれて過ごす生活が女の一生の生活であつていゝだらうか。家のことをよく整へ、子供を育てる——それだけで何もしなくていゝ家庭婦人でも、それだけであつていゝだらうか。おしやもじ、たわしやぞうきんの間から、ひらめく智慧を生み出さなくには、正しい完全な育児さへできないことを考へてみたい。

：：

子供に積極的の目標も持ちあたへ得ないために誤つた成長の道をたどらせるとしたら女性にもつと大きいものを求めないことは罪悪でさへあるのではないだらうか。生活闘争の中に自己をみがきあげて行く男性の道に並行して家庭の[illegible]の中に[illegible]新鮮高遠な智慧の光をとらへて自己をきづいて行く希望からのみ、家庭らしい家庭が生れることを、花嫁が荷物にうづもれ中で考へてほしい。[illegible]

「惡質スフ」に惱みぬく家庭

近頃スフのお蔭で家庭は無駄だらけです

主婦の立場から

東京聯合婦人會が主となつて、使用品の研究をはじめ、特にスフが問題であつて、日常生活に重大な[illegible]をもたらしてゐるといふ調査の結果が[illegible]されました、スフに對する非難は今始つたことでもありませんが、最近いよいよ高くなつてゐるといふのでまことに困つたことです、家庭婦人の立場から[illegible]賀花子さんのお話を、更にこのスフ[illegible]はないとしたら、家庭婦人はどうしたらよいかといふことを考へてみました。

……ある有名な洗濯屋さんは[illegible]が出はじめてから毎年お客様への賠償額が數千圓に上るといつてゐます。このまゝで行つたら結局の洗濯屋さんはスフのために誰から首をつらなければならぬやうになるだらうと、冗談にしても[illegible]しい話があるくらひです。ところでそれほどスフは役に立たぬものでせうか

……事實はなによりも雄辯で、一回はくと切れるスフのタビや靴下、一度風呂に使用するとあなのあくスフ手拭のあるのは本當で、またそれが非常に多いのも事實です、しかしその反面にはいゝスフのあるのも事實です。たださういふよいスフは、なかなか一般民衆にはまはつてこない。商工省で最近は繊維工業試驗所で規格試驗をしてをり、その方面の人の說明をきくと、品質的にはぐんぐん向上して來つゝあるさうですが、それは一般に廻つて來ないかぎり、どうにも仕方のない話なのです

……そこで今後政府ではさういふた品を民衆に廻す方法をとる一方優秀な技術をもつてゐるスフ會社の技術をスフ界全般に公開させその研究設備を有效に利用させるといつた對策を講ずべきはもちろんでせうが、これと共に消費者に對してはスフの取扱ひ方をできるだけ徹底させることも必要です

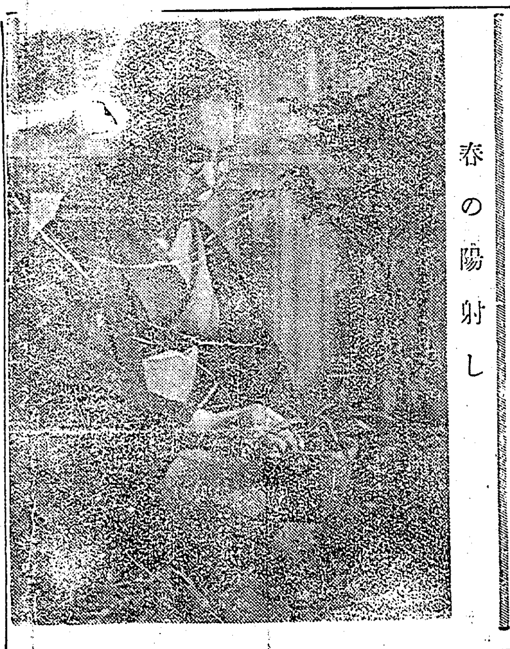
……たとへばスフは乾いてゐる時はめると逆に弱くなる。したがつてスフの洗濯には、熱湯を用ひたり、水などでも長時間ひたしておくといふやうなことは絶對にさけぬるま湯で手早く洗ふ、それも木綿物を洗ふときのやうに、洗濯板の上でごしごしやらずにかるくもみあらひの程度にとどめ、水氣をきるときも固くしぼらずにかるくそして更に手早く乾燥さするやうにするのですから、したことは丈夫一方の[illegible]木綿物ばかり扱つて來た[illegible]にとつて、まことに厄介な[illegible]であるに相違ありませんが、スフが國策として使用しなければならぬものである以上は、それを既に使用してゐる以上は、できるだけ經濟的に使用するのは、小さく家庭經濟からいつてものぞましい事と[illegible]はれます

知らねばならぬスフの取扱ひ方

例へばお洗濯の方法など持ちも餘程ちがふ

「せんだつて、私ども東京[illegible]側の[illegible]委員に屬するものが、消費者代表となり商工省[illegible]、製造業者も出席した席上、やはりスフが話題にのぼりましたが、その時製造家では目下研究中で、近く良好な製品が市場へ出るといふ答があり、商工省の[illegible]意にされ市場に出てゐるはづとのことでした、百貨店などではそんな品物こそ自分たちの方に[illegible]してくれませんかといふのですが、實際はそんな保證附の製品など、どこをさがしてもありません、本當にいへば、私どもはそんな[illegible]は今さら聞きたくありません、現に[illegible]が[illegible]經驗してゐる[illegible]なスフ製品による苦しみを、[illegible]や製造家は知つてゐられるのですか、私たちが[illegible]使ふスフは[illegible]の試驗品から進歩するどころか、退歩してゐる狀態はいつたいどうした原因があるのでせう、ドイツでは軍隊までオール、スフで間に合ふといふのとあまりケタがちがふ話です、そこで、今度の[illegible]婦人會のお仕事は、[illegible]家庭婦人として大贊成です、いまは[illegible]の時代ではありません、この事[illegible]例へば[illegible]はいた[illegible]が多方に[illegible]はぬい目がバラバラになる、と、いつた[illegible]を、[illegible]していただきたいものです、婦人會では木綿の[illegible]さんがさうですが、それもけつこうでせう、今のやうな狀態では、[illegible]どころでなく、[illegible]大に浪費を家庭でくりかへしてゐるやうなものです

スフが誕生してから[illegible]ちやんにすればもう二、三年で小學校ですが、それにもかゝはらずいまだに苦情がたえないばかりか出廻つてゐるスフの商品を見ると事變[illegible]したころよりも品質が劣つてゐるとさへ思はれるやうなものがあります

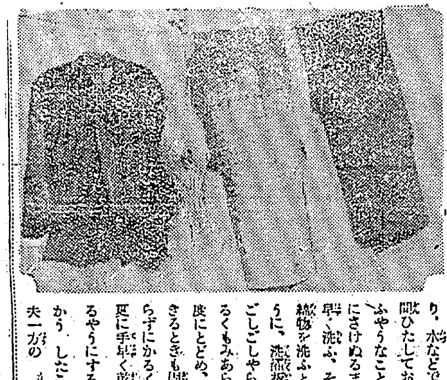


春の陽射し

子供のお藏

なんでもかんでも仕舞へる

ポケットだらけの服



子供はなんでもかんでも持つてゐたがる、大人にとつてはこんな物と思はれるものが、子供には大へんな寶物であるば合があるんで、わが國でもこの頃は田舍に行つても小學生は大方洋服をきるやうになつたが、彼等のポケットをさぐつてみると、をれ釘だの、よごれたメンコなどが大せつそうに藏つてあるのを發見するであらう、だから子供たちにすればもつと〳〵入れ物がほしいにちがひない

……

ニューヨークの盛り場であるマンハッタンの子供はマンハッタン子供クラブをつくつて學校から歸りに寄つてあそんだり、練習や復習をしたりしてゐる、このクラブの子供が狩獵や釣漁服のデザイナーのアベ・ローゼンベルグに[illegible]んでこしらへてもらつた理想的な服を着てゐる、これは上、下で廿三のポケットがついてゐる

……

上衣の[illegible]ところにはゴムやら鉛筆エンピツ等の類を入れて雜品ポケットが十個、背中の方にはローラースケートの靴を入れるポケットが二つ、内側にはパンやお菓子、果物などを入れる食物ポケット二つと物かくしが一つ、ズボンにはお尻に二つ腰脇に二つ、バンド締めのところに二つといふやうにポケットででき上るやうなものである

家庭教材

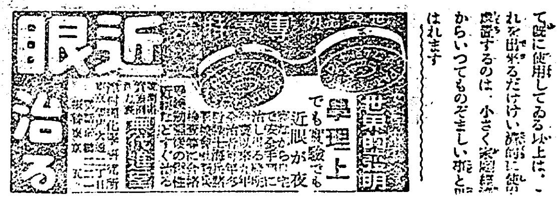
船岩和尚

明後[illegible]の[illegible]長[illegible]の船岩和尚は有名なる桃水和尚の法兄である。かつて船岩は[illegible]眼和尚を[illegible]して法華經の講演を開かれた時に桃水和尚もそこにゐあはせて聽講してゐたが、ある日急に雨がふりさうになつたので、桃水和尚は座をたつて、やぶれた衣裳を着け[illegible]になつて[illegible]をかつぎ、しきりに前の菜園のなすにそゝいだのである。それを見た船岩は一[illegible]してはまあなぜそのやうなけがれたことをするのであるか、沙門の身として假てめにも糞を手にするといふことがあるか。早く止められよとあらくしく叱責した。すると桃水はニツコリ笑ひしづかに口をひらいて「これは師兄の御言葉とも感心ができませぬもしさうであるならば、[illegible]をぬぐうともならぬはずではござらぬか、しかし人々は誰でも[illegible]をぬくひ、その手で合掌もすれば、お經も[illegible]もたむければ佛しようと供へるけれども、格別佛[illegible]がそれを御嫌ひなされたといふことをきゝませぬ。されば野菜が[illegible]したからとて、左程けがれるわけでもありますまい、[illegible]がやせるので[illegible][illegible]いふ[illegible]かつた

主婦の手帳

鹽を使つてやけどの手當

寒い間は、ちよつとした不注意で火鉢、ストーヴ、ゆたんぽ等で火傷をする場合が多いものです。火傷をしたときには、傷口が破れてなければ[illegible]法として、[illegible]をぬつて繃帶しておくのが、一番いゝのですが、うづうづします、この時油をぬつた上に、お鹽を大目につけておきますと、いたみも早くとれ火形もなくなほること妙です



近眼治る

學理上世界的發明

近眼が夜でも[illegible]

[illegible]

時局小說

驀進

士別一樹　作　北野傳　畫

（禁上演映畫化）

第一〇八回　上京（三）

「私、どんなに嬉しいか知れないけれど」

彼女は頰を染めて答へた。

「それを聞いて安心しましたよ。僕だつて今一緒に東京へ行つて下さいとは云ひませんが、何しろアザ[illegible]やうな人間に付纏はれてゐるとすると、あなたのことが心配になつてね」

アザ[illegible]と聞くと、彼女は、ゾッとして

「そのことは叔父からも云はれましたの、叔父は——」

彼女は暗くなつて口籠つてしまつた。

「僕には何ぐ一緒にでも連れて行つてくれつて云ふんですがね、一緒に行くのも世間の手前どうかと思ひましてね」

「わたし後から[illegible]りますわ。あなたさへよければ——」

「有難う、いゝも惡いもありやしませんよ。東京へ行つたら、叔父さんも呼んで上げたいわ」

二人は、どちらからともなくソッと、より添ひながら、静かに歩いて行つた。

好枝も、段々話してゐる中に、一日でも早く離れて暮すことが、とても辛いやうに思はれてくるのであつた。

「何時まで歩いても同じことだ。もうお歸りなさい」

「でも」

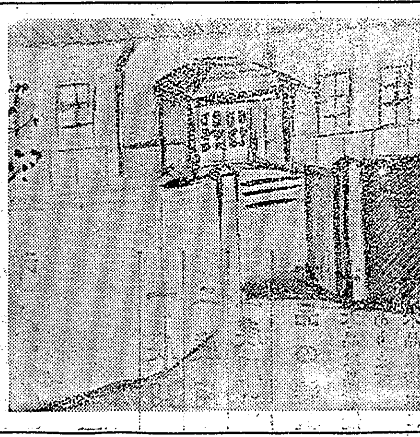
「歸つてゐますよ、なるべく早く[illegible]して下さい、樂しみにして待つてゐますよ」

「えゝ、[illegible]」

それから二人は元來た路を引返した。

壯吉は下宿へ歸つて間もなく布團にもぐり込んだが、容易に眠れなかつた。東京へ[illegible]れるといふこと、好枝と一緒になることが出來るといふ二重の喜びが、[illegible]を何時までも興奮させてゐるのであつた。

[illegible]



られる大きな[illegible]

[illegible]じるのであつた。

東京で[illegible]して遙々東北の山の中へ來た時、列車の窓から眺めた大[illegible]を、今、壯吉は新たな[illegible]を以つて眺めるのであつた。

上野へ着くと壯吉は、小石川の元住た下宿へ電話をかけて、その[illegible]へ[illegible]分落付くことにした、その翌日本社へ行つて、[illegible]山の[illegible]などを報告してから、五日間の休暇を貰つたので[illegible]び陸軍病院へ一兵を[illegible]ねた。

「おゝ中山君、好くやつて來れたね、今度は[illegible]も[illegible]院になつて東京へ來ることとなつたんだ」

「さうか、それは好かつた。[illegible]の見えないといふことは不自由には違ひないが、[illegible]の眼が開けたよ」

これは[illegible]報だつたよ」

それから二人は[illegible]以來のことを[illegible]し合つたが、とても[illegible]し切れるものではなかつた。

[illegible]

が上野驛へ見送つたことを覺えてゐられるに違ひない）壯吉と一兵とは、大學時代からの友人さ、下宿も殆ど同じ家にしてゐたやうな間柄だつたのである。

中野から[illegible]するといふ通知を受取つても、餘りに[illegible]で、仕事の都合で見送ることも出來なかつたが、長い手紙を出して置いたのであつた、一兵からも時々便りがあり、最近は陸軍病院から[illegible]の便りを受取つてゐるのである。

（久し振に[illegible]なア）

[illegible]想ひ出すと[illegible]眼が[illegible]へてくるのであつた。

×　×　×

その翌朝は、[illegible]が[illegible]まつて見送つてくれた。好枝は[illegible]送りには行かないで[illegible]三だけが出かけて行つた。

（これで當分この[illegible]山ともお別れか）

[illegible]

（夜間診療）
胃腸性病
内科　胃腸病科　花柳病科　性病科　皮膚科
專門
松村胃腸性病醫院
平市南町（電話一〇七番）

かまぼこ[illegible]
お惣菜用、さつま揚、吉原揚……
製造
◎配達員至急入用委細面談
平市二丁目　電話一四一番

内科外科一般
金成醫院
金成忠義
平市鍛冶町　電話三五八番

女販賣員を募る
▽採用員　五名
▽年齢　十八才ヨリ二十才迄
◎詳細ハ平職業紹介所ニ問合セ下サイ
平市
三井呉服店
電話三八・二八四番

產科婦人科專門
根本醫院
平市南町
（入院隨時）
【電話三四番】

「旨い」と一言にして盡く
神戸牛
すき燒
相始め申候
日本料理
山茶莊
平市仲田町
電五〇

花柳病科外科
本村外科醫院
平市南町（警察署通り角）電話三〇九番

提灯と國旗

平市二丁目
三井タクシー
電六八五番

◎女車掌（三名至急募集）
1、未經驗者ニ限ル
2、委細面談
3、優遇ス

吉田眼科醫院
平市紺屋町　電話六八番
醫學士　吉田久雄

…お買物なら
在庫品豊富な…
平市田町
銀座通り
玉屋洋品店
電話六五六番

◇和文歐文タイプライター
◇最新事務用品類
◇文房具一式
◇製圖並に測量用品
◇謄寫版並に附屬品
平市田町銀座街
東邦タイプライター代理店
東邦タイピスト養成所
藤森
電話三七〇番
振替仙臺五一〇番
（藤森事務用器商會）

酵母にまさる
榮養と食慾增進劑
肝鐵

百四十日分　一八、五〇
一ケ月分　二、二〇
十五日分　一、二〇

肝鐵は……榮養劑として牛の臟器より製造したものでありますが……胃の惡い人、便通の不整な人にならぬ……從來の……酵母や胃腸藥に比較して……御話にならぬ程……よくきゝます……ふとるとらぬ……と云ふ事は一、二ケ月もせぬと現はれにくいものですが……立處に實に……ハツキリと……胃腸にきく……と云ふ事は何と云つても肝鐵の大きな强みで……試みに服用して頂いて他の榮養劑の様に……きゝめのわからぬ……と云ふ御叱りは、絶對にありません

—效能—
胃カタル・消化不良・各病食慾不振・黃疸・膽石・膽管炎・神經衰弱・性慾減退・乳汁分泌不足・脚氣・綜合ビタミン缺乏症・新陳代謝障碍・夜盲症・小兒ノ發育不良・榮養不良・消化不良等惡性貧血、[illegible]性貧血、内科婦人科出血及ノ貧血及急性慢性疾患、即チ呼吸器、血行器、傳染病等ニヨル貧血症諸ノ增血劑トシテ治療ノ機轉ヲ速カナラシム又過度ノ疲勞、重病回復期、早老防止等ニ卓効アリ

阿康推選品
平市古鍛冶町（縣社石段下）
專賣所
アコー藥局
電話四四番
振替東京三〇〇六五番

春の紳士服
羅紗界最高峰
Refinetex
レフアインテツクス
大崎屋洋服店
平市銀座通　電96

割烹
花村
平市田町
電話四番

フルーツみつ豆
あんみつ豆
フルーツポンチ
フクジケン獨特のとんかつ……と
特製燒かつ
福壽軒食堂
平驛前・電二八番